

令和4年度 事業報告

第二青陽園

計 画	実施状況
1 事業 (1) 特別養護老人ホームの経営 第二青陽園 定員90人 (2) 老人短期入所事業の経営 第二青陽園 定員10人	計画どおり。

2 経営方針	計画どおり。
---------------	--------

3 行動指針	計画どおり。
---------------	--------

4 収支目標	
年間入所利用率を98%とする。	長期入所利用率 97.8 % 短期入所利用率 90.7 % 長期短期の合計 97.0 % 要介護度 入所 3.89 短期 3.03 平均年齢 入所 88.3歳 短期 86.4歳

5 実施内容

(1) 施設の安心・安全な運営	
①新型コロナウイルス感染症等防止対策の徹底 ・「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針」に基づき、感染防止委員会を定期開催するとともに感染症対策体制を向上させていく。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、入所前の利用者にPCR検査を実施するとともに、必要に応じて職員のPCR検査を実施する。 ・感染症予防に関する研修を定期的を実施する。 ・最新情報の収集に努め、対策マニュアル等の見直しを実施する。	① 感染防止委員会及び日常の業務を通じて、手洗い、消毒、マスクなどの日常ケアでの感染対策を行うなど、感染症対策体制を実施した。 ・入所前の利用者にPCR検査を2回実施して感染対策を講じるとともに、職員のPCR検査を毎週1回及び必要時に実施した。 ・感染症対策に関する施設内研修を教育研修計画に組入れて実施した。また、外部研修として8月に東京都研修動画「高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防」を受講した。 ・東京都や厚生労働省などから感染症関係情報を収集し、また、連絡会等を通じて感染対策について職員周知を行うとともに、対策マニュアル等の見直しに取り組んだ。
②社会的な信頼の確保と向上 ・日常ケアを通じて、ご利用者ご家族の意見や要望に対して誠意をもって対応するとともに、第三者委員参加のもと、苦情防止解決委員会を開催して対応を図る。 ・個人情報の保護を適切に行うために、関係情報の周知、業務点検、研修等を実施する。 ・第三者評価を受審してサービス評価を行い、サービス向上に取り組む。 ・ユニットケア推進委員会の取組みを通じてユニットケアの充実を図る。	② ・日常ケアを通じて、ご利用者ご家族の意見や要望に対して誠意をもって対応した。また、感染症対策関係から第三者委員参加による苦情防止解決委員会を中止したが、苦情相談窓口を設けるなどの体制を整備している。 ・ホームページに利用者活動の様子を掲載して、家族の安心につながるように努めた。 ・個人情報保護の研修を実施した。 ・第三者評価を受審して良好な結果を得ることができ、利用者サービス向上につなげた。 ・ユニットケア推進委員会を定期的開催してユニットケアの充実・向上に取り組んだ。

<p>③ 医療体制の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科、精神科、泌尿器科、皮膚科医師の定期診察により健康管理を行う。 ・看取り期や急変時の対応として、夜間を含めた医師と看護師のオンコール体制、介護員との連携などにより医療対応を提供していく。 	<p>③ 管理医、嘱託医による内科、精神科、泌尿器科、皮膚科の定期診察により、利用者の健康管理を行った。</p> <p>また、管理医により利用者職員への新型コロナワクチン接種を年2回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取り期や急変時は、夜間を含めた医師と看護師のオンコール体制のもと、随時、家族に状態経過を連絡しながら対応を行った。
<p>④ 防犯・防災体制の整備、見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画(BCP)に沿って訓練を実施し、防災体制の充実を図る。 ・防火管理委員会のもと定期的に防災訓練を実施して防災意識の向上を図り、防災設備、避難、通報等の周知徹底を図る。 ・消防設備の定期点検を実施するとともに、防火管理者による防火設備及び避難経路の確認・管理を行う。 ・防犯訓練を実施し、防犯対策、設備等の点検・見直し検討を行う。 	<p>④ 事業継続計画(BCP)に沿った訓練を実施し、計画の見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施して、防災意識の向上を図り、防災設備と避難経路の確認、通報と避難手順の周知徹底を図った。 ・定期的に業者による消防設備点検を実施し、防火管理者による防火設備や避難経路の点検などを行った。 ・防犯対策として設備の点検と戸締りの点検、夜間の施設内外の巡回による点検を行い、また、防犯訓練を実施した。
<p>⑤ 事故の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「事故発生防止のための指針」に基づき、事故防止委員会を定期開催し、ヒヤリハット及び事故報告書を分析して事故防止体制を強化する。 ・事故防止関係の研修を実施し、事故防止対策の充実を図る。 	<p>⑤ 事故防止委員会及び日常のケアを通じて、ヒヤリハット報告・事故報告を分析して事故防止対策を図った。</p> <p>また、入所相談時に、家族に対して転倒や転落などのリスクについて説明し、事前に家族理解を得るように取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止関係の研修を年間の教育研修計画に組入れて実施した。
<p>⑥ 虐待の防止及び早期発見・拘束ゼロの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳保持、虐待防止、身体拘束防止についての委員会を定期開催して虐待ゼロ、拘束ゼロを徹底継続するための確認及び職員周知を行う。 ・日常ケアを点検して適切ケアに取り組み、関係する研修を実施する。 ・「身体的拘束等適正化のための指針」に沿った行動に努める。 	<p>⑥ 尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止の委員会や日常のケアを通じて職員周知を行い、虐待防止と身体拘束防止の徹底継続を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常ケアとユニット会議を通じて適切ケアに取り組むことで、虐待防止と身体拘束防止につなげた。また、関係する研修を年間の教育研修計画に組入れて実施した。 ・「身体的拘束適正化のための指針」の見直しを行い、この指針に沿った行動に努めるとともに、関係する研修を実施した。
<p>⑦ 建物、設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会や日常業務を通じて、設備等の不具合について適宜確認し周知するとともに、定期的に建物・設備の点検を実施する。 	<p>⑦ 安全衛生委員会や日常業務を通じて、備品の整理整頓、建物・設備の点検を行い、不具合等については適宜必要な修繕を実施した。</p> <p>また、業者による定期的な害虫駆除を実施した。</p>
<p>(2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</p>	
<p>① サービス計画にご利用者ご家族の意向を反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者ご家族等にケアプラン会議に出席して頂くか、又は電話や書面にて家族と連絡をとり、ご利用者ご家族等の意向を反映したサービス計画書を作成する。 	<p>① 入所時と半年毎のサービス計画書作成時に、ご利用者ご家族の意向を確認して本計画書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者個別の24シートから、24時間を通じた行動や状態の特徴を把握してケアを行った。 ・計画、実施、点検・評価、処置・改善のPDCAサイクルでサービス提供を行った。

<p>② 利用者・家族等の意見、要望の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常ケアを通じてご利用者ご家族等の要望の把握に努めるとともに、園長によるユニット巡回等を通じてご利用者ご家族等の要望の把握に努める。 ・第三者評価の利用者アンケート調査をもとに意見や要望の把握に努める。 	<p>② 日常ケアを通じてご利用者の要望の把握に努めるとともに、ご家族との電話連絡時やご家族来園時などにご家族の要望の把握に努めている。また、園長と副園長のユニット巡回等を通じてご利用者の要望の把握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を受審して、サービス提供についての利用者聞き取り調査を行い、意見要望の把握に取り組んだ。
<p>③ サービス計画に基づくサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の24シートにもとづき食事、入浴、排せつ等のケアを実施する。 ・個別の機能訓練計画を作成し、日常生活動作の維持改善を図る。 ・選択食や季節感のある行事食等により食事サービスを提供する。 ・ユニットケアの特徴を活かしたサービスに努める。 	<p>③ 個別の24シートにもとづき食事、入浴、排せつ等のケアを実施し、日常ケアやユニット会議などを通じてケア方法を点検して、より良いケアを提供できるように努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練指導員とユニット職員等が連携して日常生活動作の維持改善に取り組んだ。 ・日頃より旬の食材を使い、季節を感じて頂けるような献立で食事サービスを実施した。 ・ユニットケアの特徴を活かしたサービスにつながるように、ユニット推進委員会を開催し、教育研修を実施した。
<p>④ 余暇活動や行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて余暇活動や行事を実施する。 ・ご利用者の要望に沿いながら、誕生会やユニット活動等を実施する。 ・パブリックスペースを活用して、家族や地域の方との交流を図る。 	<p>④ 感染症対策関係から、お花見会と夏祭りを中止し、敬老会は家族や来賓の参加を中止して、敬老の集いという形で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老の集いでは、理事長より95歳以上の利用者一人ひとりにお花の授与と記念撮影を行い、記念写真を家族にお送りした。 ・利用者の誕生会や季節を感じることができる、ユニット別の余暇活動を行い、ご利用者に喜んで頂けるよう努めた。 ・感染症対策関係から、家族や地域ボランティア等との交流活動を中止した。
<p>(3) 事業の安定的な運営</p>	
<p>① 経営感覚の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹部会にて収支目標に対する進捗状況や経営状況を確認し職員周知を行う。 ・節電や節水等により経費の節約に努める。 	<p>① 幹部会や連絡会において収支目標に係る進捗状況や経営状態について確認を行い、職員周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道及びガスの使用量節減のため節水装置を取付けており、経費の節約に努めた。
<p>② 業務の簡素化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者管理システムや施設内LANを活用して、業務の効率化と簡素化に取り組む。 ・マニュアルの見直し、委員会や会議の見直しなどにより、業務の効率化に取り組む。 	<p>② 入所者管理システムや施設内LANを活用して、各部署内の情報共有と業務の効率化に取り組んだ。また、ユニットと各部署のパソコンで研修動画を視聴できるようにして、場所移動時間の節約と業務時間の有効利用につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委員会ほかの委員会や会議などを通じて、マニュアルの見直しや、委員会や会議の見直しを行った。
<p>③ 入居を計画的に安全に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所、老人保健施設や病院などにアプローチを行いながら、PCR検査を実施して、入居を計画的に安全に進める。 	<p>③ 居宅介護支援事業所、老人保健施設や病院などと連携をとり、事前のPCR検査を行いながら、入居を計画的に安全に進めた。</p> <p>また、入所前の家族説明では、重要事項の説明に加えて、看取り関係の説明もを行い、ご利用者・ご家族の安心に資するよう取り組んだ。</p>

(4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化	
<p>① 知識・技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTや研修を通じて、知識・技術の向上につなげる。 ・感染症対策の一環として、オンラインによる外部研修受講を進める。 ・必要な各種資格を取得する際の支援体制を図る。 	<p>① OJTによる知識・技術の向上に取り組むとともに、園内の教育研修を年22回の開催予定として取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、感染症対策の関係から、YouTube動画配信などによる研修に取り組んだ。 ・修了証書が発行される研修は、安全対策責任者養成研修を2名が修了し、介護福祉士試験に1名が合格した。
<p>② 職員の確保と定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の確保と定着を図るために、自己申告書等を活用したキャリアパスを実施して、職員一人ひとりが「やる気と誇り」を持って働くことができる職場づくりに努める。 ・健康、安全や衛生に関する情報を提供していく。 	<p>② 法人において、職員の異動資格希望等に係る自己申告、目標管理、人事考課などによるキャリアパスを整備し、また、必要な資格研修受講時の費用の支給、資格取得時の祝金、永年勤続表彰などを整備している。これにより、職員が「やる気と誇り」を持って働くことが出来る職場づくりに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議や委員会、研修などを通じて、健康や安全に関する情報を周知した。
(5) 地域、後援会との連携	
<p>① 地域等連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部と連携して、町会長との懇談会(6月10日(金曜日))、地域との合同防災訓練(10月21日(金曜日))に取り組む。 ・本部、後援会、各園やボランティアと連携して、夏祭り(7月29日(金曜日))、敬老の集い(9月17日(土曜日))、チャリティバザー(10月1日(土曜日))などの行事に取り組む。 ・青陽園及び地域包括支援センター川口と連携しての「認知症カフェさくら」、「介護予防健康体操教室」の開催は、新型コロナウイルス感染症発生等の実状を踏まえ検討する。 	<p>① 法人主催による町会長との懇談会に園長が出席した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策関係から、夏祭りを中止した。敬老の集いを9月15日に開催し、理事長より95歳以上の利用者一人ひとりにお花の授与と記念撮影を行い、後援会からは利用者への記念品贈呈を頂いた。 ・青陽園及び地域包括支援センター川口と連携しての「認知症カフェさくら」と「介護予防健康体操教室」は、感染症対策関係から中止した。 ・ホームページに利用者活動の様子を掲載して、後援会や地域の方達に園の様子を知って貰えるように努めた。
<p>② 高齢者関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都、八王子市、社会福祉協議会などの関係機関との連携を図る。 ・八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換などを行う。 	<p>② 東京都による経営支援補助とPCR検査補助、八王子市による短期入所者PCR検査補助を受けた。</p> <p>また、八王子市のホームページ「八王子ケア倶楽部」から事業関係情報を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都社会福祉協議会の会員施設として情報提供を受けており、同会関係のアンケートや調査に協力した。 ・八王子施設長会ではオンラインZOOMによる特養施設ブロック会、施設長総会が7月に開催され、その中で情報交換などを行った。